

2007年3月期 決算説明会

2007年3月期 業績の概況

経営方針：2007年度の取り組み

主要製品・開発品の状況

2007年5月15日

株式会社キョーリン

代表取締役社長 荻原郁夫



2007年3月期 決算概観(連結)



07年3月期(連結)業績

国内新医薬品は順調に推移し、後発医薬品及びヘルスケア事業ではキョーリンリメディオ、ドクタープログラムが業績に12ヶ月間フル寄与するものの、海外新医薬品のテクイン販売中止により、連結売上高は771億円(前年比4.1%増)の増収となりましたが営業利益は84億円(前年比6.4%減)、当期純利益は48億円(前年比7.4%減)の減益となりました。

当初予想(中間期公表)に対しましては連結売上高4億円増、営業利益21億円増、当期純利益12億円増を達成し、配当は30円/年としました(当初予想:20円/年)。

08年3月期(連結)業績予想

国内新医薬品は主要製品の売上拡大と新薬「ウリトス」の発売等により連結売上高836億円(前年比8.4%増)と伸長するものの、研究開発費及び販売費の増加により連結営業利益85億円(前年比1.0%増)、当期純利益50億円(前年比3.3%増)を見込みます。

単位: (百万円)	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	前年比	08年3月期 (予想)	前年比
売上高	65,061	66,296	74,054	77,093	4.1%	83,600	8.4%
営業利益	8,766	5,866	8,989	8,413	▲6.4%	8,500	1.0%
経常利益	8,597	6,430	9,465	8,655	▲8.6%	9,100	5.1%
当期純利益	5,692	2,013	5,228	4,842	▲7.4%	5,000	3.3%
EPS	68.76円	26.48円	69.74円	64.97円	▲6.8%	66.78円	2.8%
総資産	121,355	109,234	121,044	124,039	2.5%	—	—
純資産	91,856	90,544	94,752	98,178	—	—	—

* 06年3月期業績(連結)までは杏林製薬(株)の数値、07年3月期業績及び08年3月期予想は(株)キョーリンの数値を示す

2007年3月期 業績の状況(連結)

単位:億円

	06年 3月期 (実績)	07年 3月期 (実績)	対前年 増減
売上高 合計	741	771	+30
◆新医薬品	643	630	▲13
国内	557	572	+15
海外	86	58	▲28
◆後発 医薬品	35	57	+22
◆ヘルスケア	50	73	+23
◆その他	12	11	▲1
営業利益	90	84	▲6
経常利益	95	87	▲8
当期純利益	52	48	▲4

■ 売上高	771億円	対前年 (+30)	対当初予想 (+4)
● 国内新医薬品	572億円	(+15)	(▲2)
	06.3実績 07.3実績		
・キプレス	134 → 150	(+16)	
・ペンタサ	73 → 80	(+7)	
・ムコダイ	199 → 204	(+5)	
● 海外新医薬品	58億円	(▲28)	(+9)
・ガチフロキサシ	67 → 32	(▲35)	
* BMS社テイクン販売中止			
* アラゴン社ザイマ-は続伸(\$85MM \$95MM:現地売上)			
売上増加要因:導出品の契約に関する一時金収入等			
● 後発医薬品	57億円	(+22)	(▲2)
● ヘルスケア	73億円	(+23)	(±0)
・ミルトン	21 → 21	(±0)	
・ドクタープログラム社	8 → 28	(+20)	
● その他	11億円	(▲1)	(▲1)
◆ 原価率:前年比 3.9ポイント上昇 (35.8%→39.7%)			約5ポイント 上昇と予想 (▲1.1ポイント)
上昇要因:薬価改定(6.3%)、能代工場(新製剤棟)の稼動に伴う減価償却費の増加等			
◆ 研究開発費率:前年比 2.4ポイント低下(13.6%→11.2%)			
* 101億円→86億円(約15億円減少)			
共同開発品の開発費用の07年度への期ズレ			
◆ 販管費率(除R&D費):前年比 0.2ポイント低下 (38.4%→38.2%)			約1ポイント 上昇と予想 (▲1.2ポイント)
■ 営業利益	84億円	(▲6)	(+21)
* 営業利益率は10.9%と1.2ポイント減少			
■ 当期純利益	48億円	(▲4)	(+12)
■ 配当 30円00銭 配当性向 46.2%			

2008年3月期 業績の予想(連結)

単位:億円

	07年 3月期 (実績)	08年 3月期 (予想)	対前年 増減
売上高 合計	771	836	+65
◆新医薬品	630	673	+43
国内	572	631	+59
海外	58	42	▲16
◆後発 医薬品	57	64	+7
◆ヘルスケア	73	87	+14
◆その他	11	12	+1
営業利益	84	85	+1
経常利益	87	91	+4
当期純利益	48	50	+2

売上高	836億円			対前年 (+65)
国内新医薬品	631億円			(+59)
		07.3実績	08.3予想	
・キプレス		150	163	(+13)
・ペンタサ		80	89	(+9)
・ムコダイン		204	210	(+6)
*クリスについては10数億円を見込む(薬価収載後開示)				
*ヘパング・ビジ社の譲渡に関する一時金収入等を見込む				
海外新医薬品	42億円			(16)
・ガブピリン		32	30	(2)
*アガン社がイマ(\$95MM \$100MM:現地売上)				
*導出品の契約に関する一時金収入等の減少				
後発医薬品	64億円			(+7)
ヘルスケア	87億円			(+14)
・ミルトン		21	22	(+1)
・ドクター・プラザ		28	41	(+13)
その他	12億円			(+1)
原価率...約1ポイント低下				
原価率低下要因; 能代工場減価償却費の減少ほか				
研究開発費率...11.2% 13.2%; 2.0ポイント上昇				
*研究開発費; 86億円 110億円(24億円増)				
販管費率(除R&D費)...ほぼ横ばい				
*新薬上市による初期投資により販促費は増加するものの 売上の増加により、販管費率は横ばいを予想				
営業利益	85億円			(+1)
*営業利益率: 10.2%と0.7ポイント低下				
当期純利益	50億円			(+2)
配当	30円00銭(予想)			
*配当に対する考え方: 配当性向50%を目指す				

キョーリンMIC-'09計画

(2005年度～2009年度)

目指す企業像:

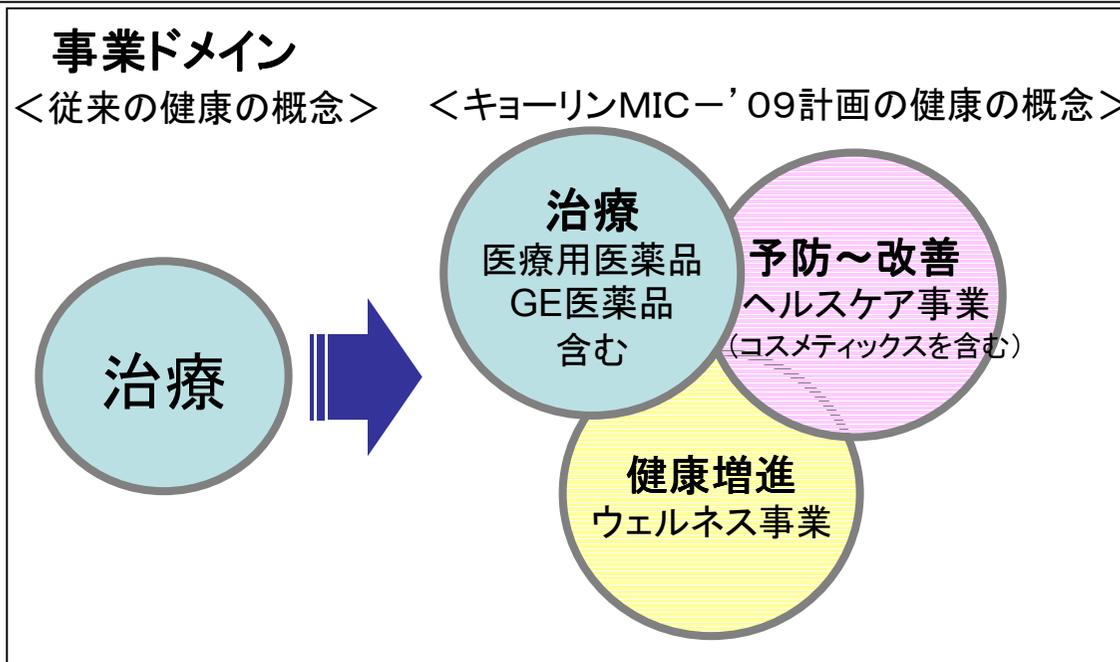
『グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした
特色ある複合ヘルスケア企業』 を目指して

◆基本方針:「進化と創造Ⅱ」

目指す企業像と2007年度の位置付け

目指す企業像:

「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」



2005～2006年度の取り組み

基盤の獲得

体制の構築

2007年度 経営方針

目標達成への成長軌道の確保

キョーリンMIC-'09計画達成に向け、成長軌道に乗せる年とする

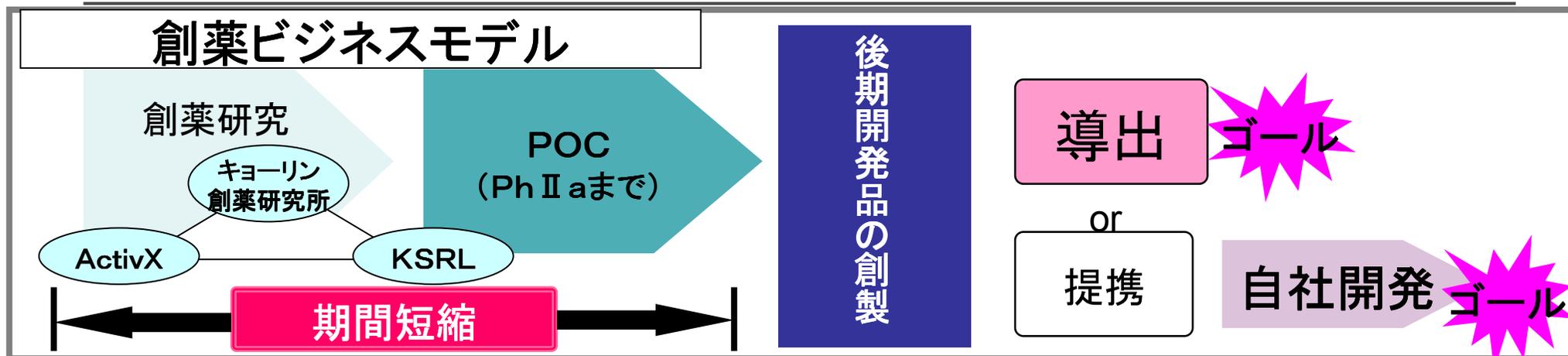
キョーリングループの組織

持株会社体制 株式会社キョーリン

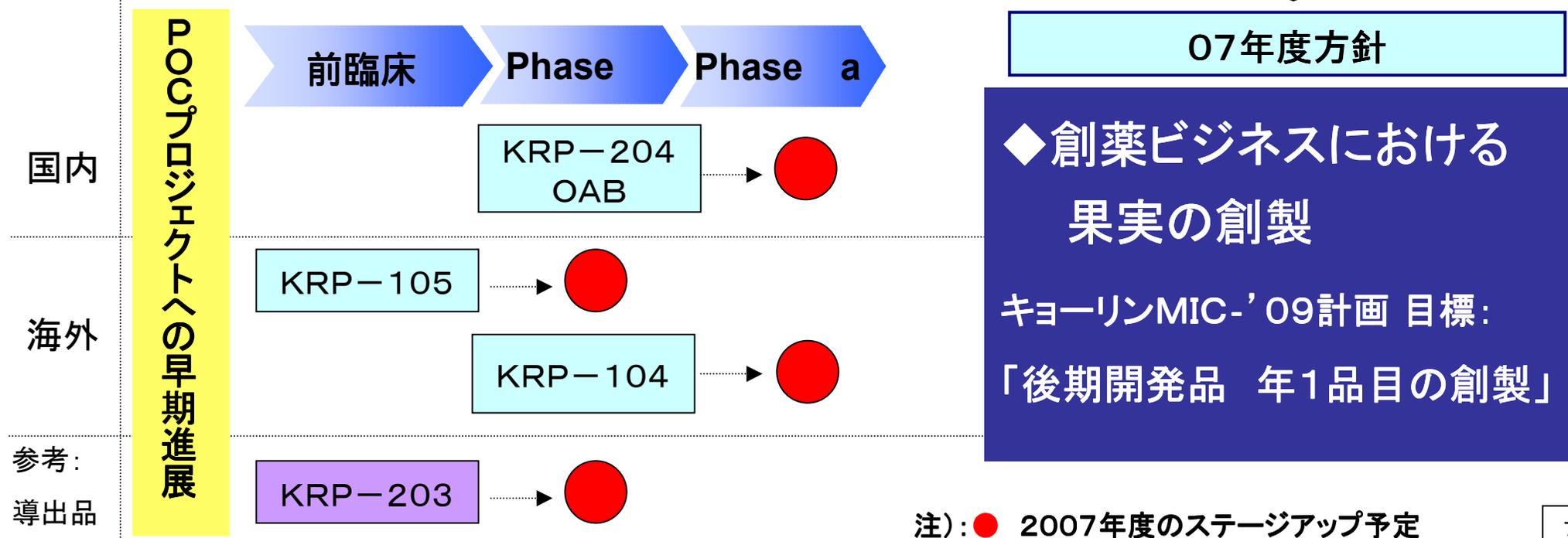


1. グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立
2. 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化
3. 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築

1. グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立



後期開発品の創製に向けたパイプラインの進展(2007年)



2. 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化

◆2007年度方針:FC戦略の真価を示す

FC領域(呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科)

FC戦略:国内医薬品市場における効率的かつ効果的な戦略

FC領域への
営業資源の集中

深化

卸店との
協働

既存品の売上を落とすことなく新薬の売上目標を達成

ウリトス
キプレス細粒の
上市を見込む

新薬上市の
成功

主要製品の
継続的な
伸長

06年度:約10%の
販売数量増を達成

07年度:3%以上の
販売数量増を目指す

国内新医薬品売上の拡大を図る

過活動膀胱治療剤ウリトス

状況 : 07年4月承認 (6月薬価収載予定)

製品特性 : 1日2回投与で過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する
②膀胱選択性が高く、口渇 (口内乾燥) が少ない

目標 : 初年度十数億円 (売上計画は薬価収載後に開示予定)
2010年3月期 シェア8~10%を目指す
(キョーリン製薬自販の売上目標)

現状

市場環境

ライフサイクルの長い製品
として育成を図る



取り組み

初年度
ウリトスのポジション確保

- 製品特性に沿った浸透
- 採用軒数の確保

FC戦略の真価を示す
泌尿器科を中心に
早期市場浸透



ロイコトリエン拮抗剤キプレス

1. ライフサイクルマネジメントの推進

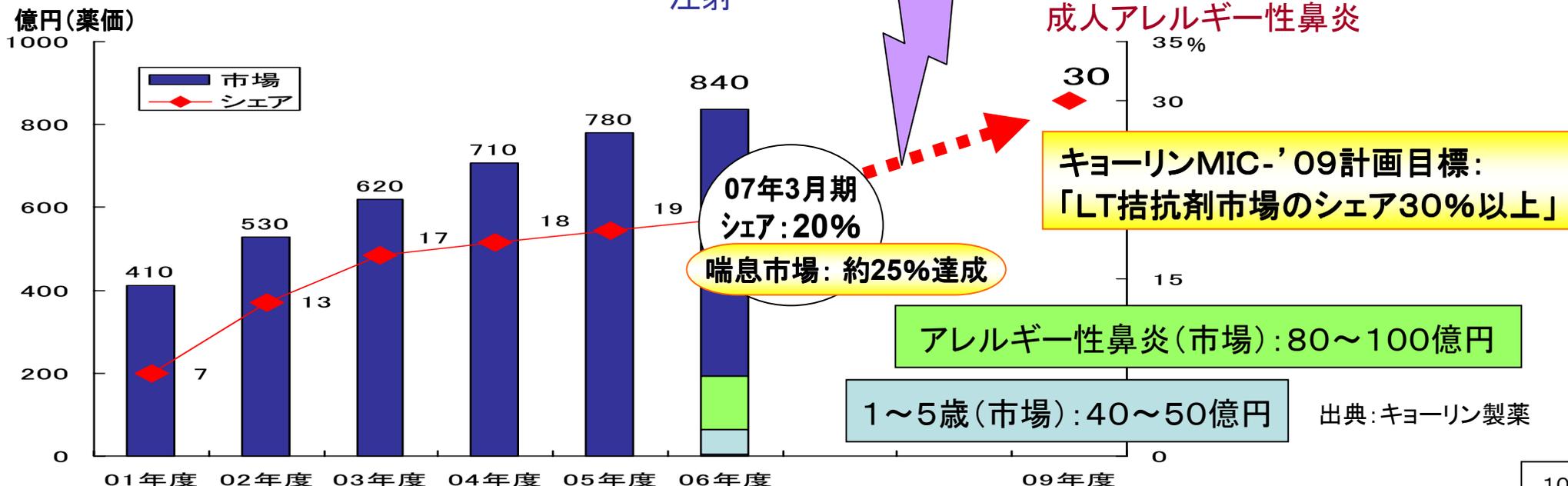
()は気管支喘息患者数 出典:厚生労働省統計データ

	1~5歳 (18万人)	6~14歳 (24万人)	15歳~ (74万人)
気管支喘息	(4mg細粒) 04年7月申請 ・07年度上期の承認見込み	チュアブル錠5	錠10
			注射剤:PhⅢ(07年2月) *07年度中の申請を目指す
アレルギー性鼻炎			(効能追加) 05年8月申請 ・07年度中の承認を目指す

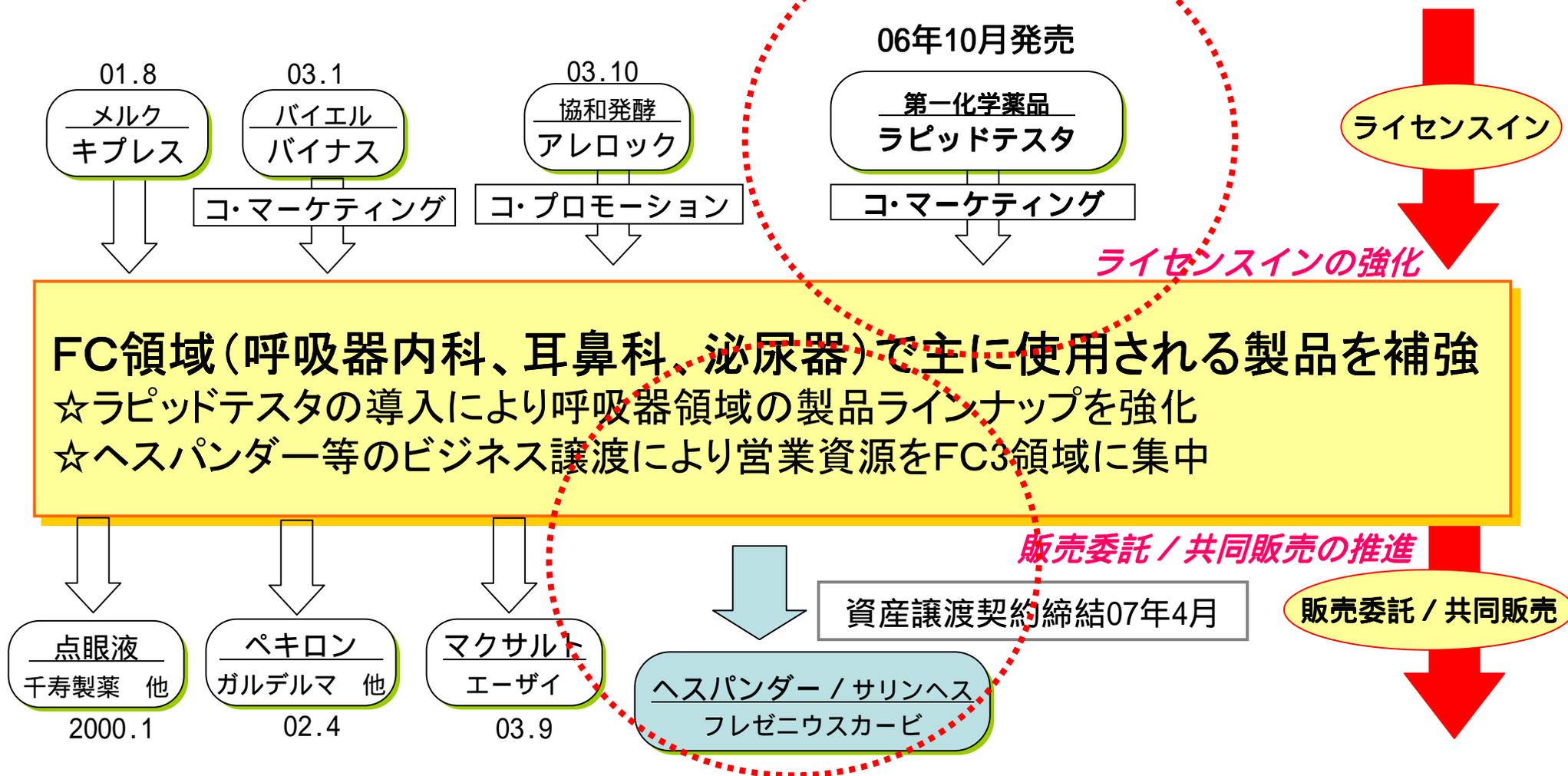
剤形追加
・小児(1~5歳)
・注射

効能追加
成人アレルギー性鼻炎

2. ロイコトリエン(LT)拮抗剤市場の推移



アライアンス戦略によるFC領域の強化

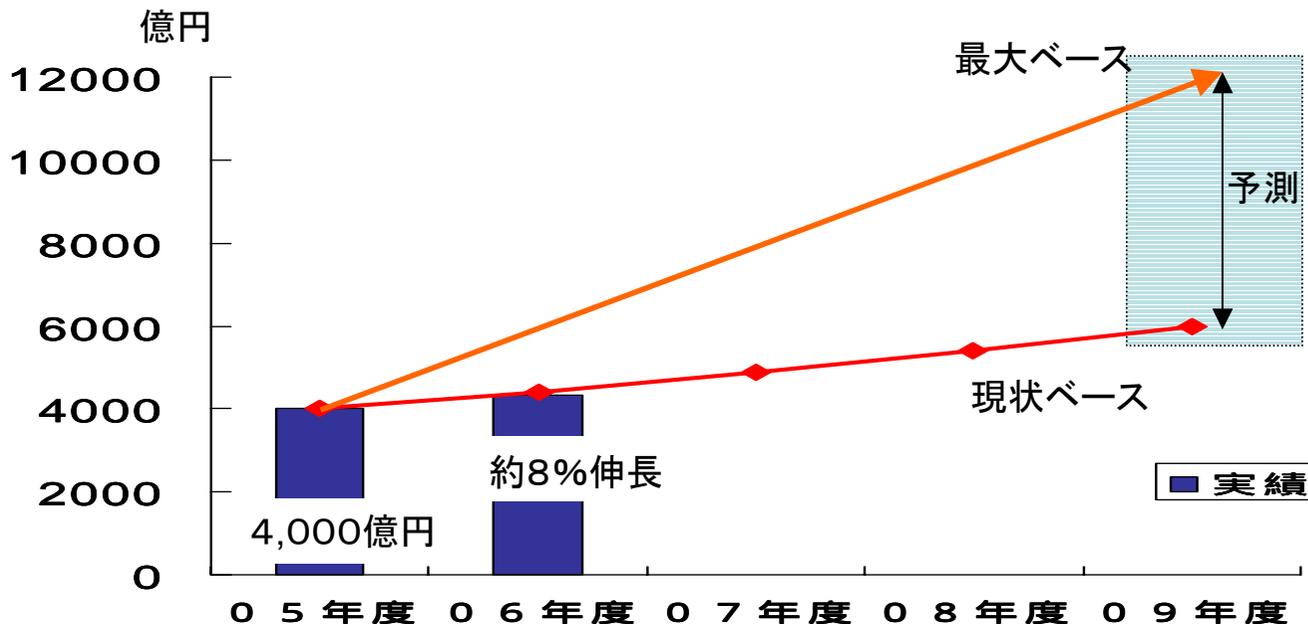


3 . 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築 信頼感のあるGE事業

●ジェネリック医薬品市場の予測

- ◆最大 1兆2,000億円
条件: 長期収載品の殆どがGEに置き換わると想定
- ◆従来ベース 6,000億円
条件: 伸長率5~10%

- ◆医療財政の逼迫
- ◆行政の追い風
- ◆患者さんの認知拡大



障壁: 外資の参入、全規格収載、安定供給(5年以上)等

●選ばれるGE企業の条件

企業体力

信頼性

キョーリングroupのGE事業
社会のニーズを捉え、信頼されるGE事業を構築し、Best5を目指す

営業体制/MR数

品揃え

品質/安定生産

キョーリンリメディオ 業績と今後の対応



単位: 億円	05年5月期 (実績)	06年1月期 (実績: 8ヶ月分)	07年1月期 (実績)	08年1月期 (予想)	10年1月期 (目標)
売上高	65	44	69	76	100 ~ 150
営業利益	0	3	2	4	10
当期純利益	△1	2	0	1	-

事業獲得・強化期

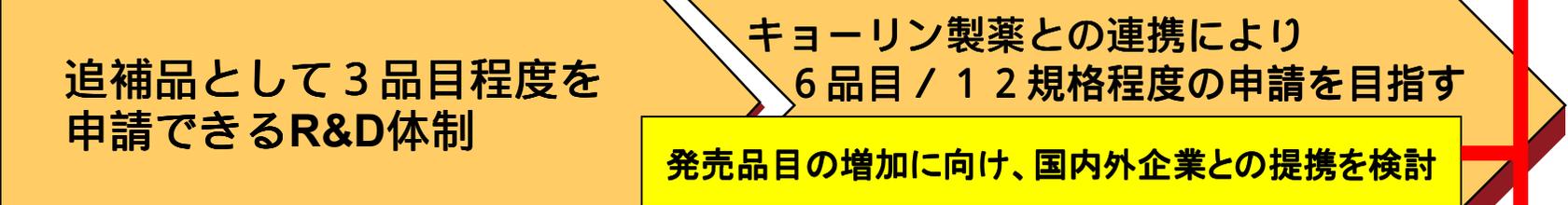
体制構築期

事業育成・成長期

営業体制
MR数



R&D体制
品揃え



生産体制
原価率
品質
生産品目数



国内GE市場拡大の追い風を掴む体制構築

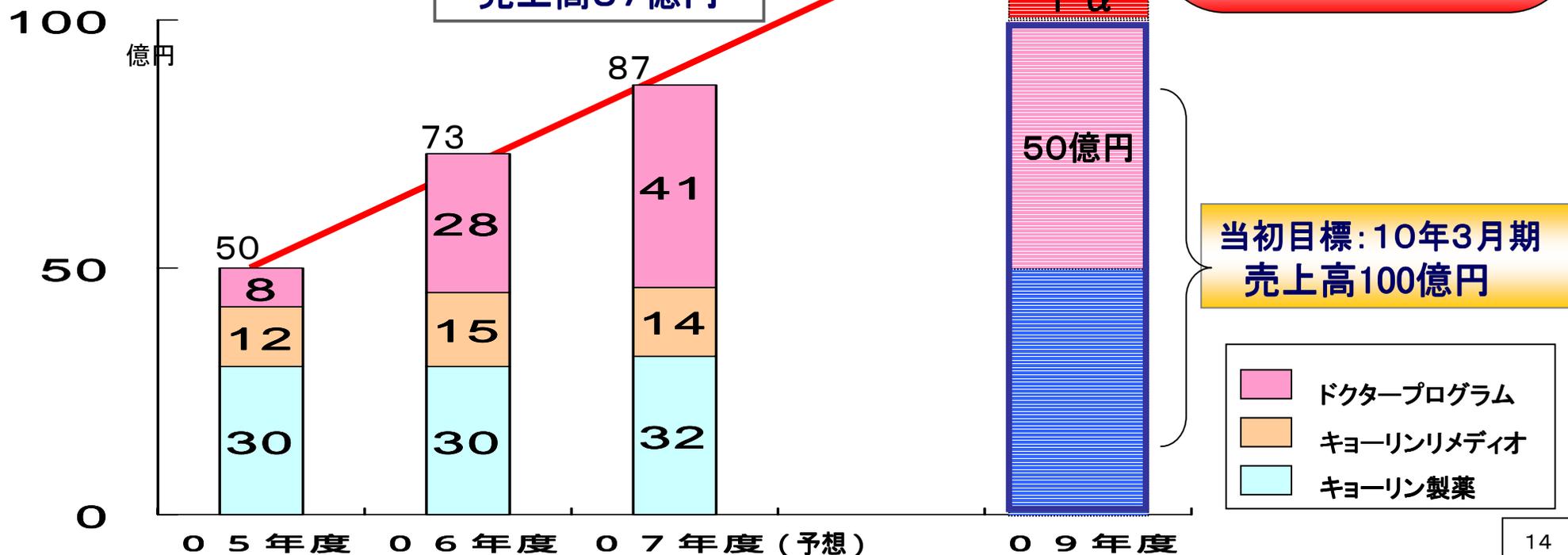
3. 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築

②ドクターの推奨を得るヘルスケア事業

1. ヘルスケア事業の構成



2. ヘルスケア事業売上推移



ドクタープログラム業績と今後の対応

単位:億円	05年6月期	06年1月期 (7ヶ月分)	07年1月期	08年1月期 (予想)	10年1月期 (目標)
売上高	5	8	28	41	50
営業利益	0	0	3	4	10%以上
当期純利益	0	0	2	2	

顧客名簿の
獲得に注力

目標とした
顧客名簿数
は達成

飛躍的成長に向け基礎固め
①既存顧客の掘り起こし
②サンプルから本商品への転換率アップ

2007年度の取り組み

◆新製品の投入

- ・新技術活用によるスキンケアアイテムの全品リニューアル
- ・エイジングケアシリーズを中心とする新製品10品目以上

◆マーケティング強化

- ・ブランド強化への対応
- ・会報誌の充実など



キョーリン製薬： 主要開発品の状況

開発品一覧 (07年5月14日現在)

申請中

* : 前回(07年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
* 承認 (07年4月)	Ph I	ウリス錠	過活動膀胱 治療剤	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が 期待される	国内: 小野薬品工業と 共同開発・共同販売 (予定)
申請 (04年7月)	(メルク社 発売中)	キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
申請 (05年8月)	(メルク社 発売中)	キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人:アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状 (鼻閉、鼻漏、くしゃみ)の改善と共に、眠気など の副作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発

開発品一覧 (07年5月14日現在)

POCプロジェクト及びPh II ~ III

* : 前回(07年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
PhIII (04年1月)	(ガルテルマ社 発売中)	塩酸アモロルフィン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	マルホとの共同開発 基本契約解消
* PhIII (07年2月)	(メルク社 PhIII)	モンテルカスト (注射剤)	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人:気管支喘息 剤形追加(注射剤)	万有製薬と共同開発
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬。 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
* Ph II (07年3月)		KRP-204 (錠)	過活動膀胱 治療剤	日清製粉	β3受容体作動薬 膀胱におけるβ3受容体の活性化により膀胱を弛緩させ蓄尿機能を高めることが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
Ph II (05年3月)	(大日本住友 PhIII)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を改善する	大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ)
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝改善/ 糖尿病治療剤	自社	PPARαのagonist。中性脂肪等脂質代謝改善作用に加えて、糖尿病に対する有効性が期待される	
Ph I (06年7月)	Ph I (06年3月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	

開発品一覧 (07年5月14日現在)

POCプロジェクト

* : 前回(07年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
	Ph I 準備中	KRP-203	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月)
	前臨床	KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPAR α agonist。KRP-101よりもさらにPPAR α 受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	

開発品一覧

(07年5月14日現在)

導出品の状況

*: 前回(07年3月期第3四半期)からの変更点を示す

製品名・開発コード	導出先・共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	—	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究 独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内Ph II (06年4月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	<ul style="list-style-type: none"> アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) 千寿製薬に導出(04年5月) * 07年3月終了
ケタス	米国 メディシノバ社	海外Ph II (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	<ul style="list-style-type: none"> 多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における独占的な開発、製造販売権を供与(04年10月) * 07年3月途中経過を発表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外Ph III (気管支喘息: 06年11月) Ph II / III (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	<ul style="list-style-type: none"> 日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における独占的な開発、販売権を供与 * 間質性膀胱炎: 07年1月に結果を公表
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外Ph I 準備中	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	<ul style="list-style-type: none"> 移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤として、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤としては、全世界の権利を留保している)を供与(06年2月)

参考資料

ビストナー事業ファンドの状況

・設立	2000年9月
・出資額	50億円(既出資額 42億円)
・投資状況	既投資先27件、投資額 27億円

対象領域	
創薬関連医薬領域	7件
医療関連領域	12件
健康食品領域	3件
コスメティック領域	3件
環境・その他	2件

**健康食品
領域**

セーフテック
①86百万円
②無臭大豆粉の
製造販売等

創薬領域

医療電子精工
①ー
②C型肝炎
温熱治療装置開発

ドクタープログラム
①2,821百万円
②スキンケア用品の
開発・販売

医療領域

バイオセレント
①56百万円
②バイオ活性産廃
分解等

**コスメティクス
領域**

JMA
①84百万円
②医療施設・機器
賃貸

**環境・
その他**

- ①売上高
- ②主な事業内容

- ファンドの運用管理強化により、投資先の早期ビジネス化
- ヘルスケア・ウェルネス領域を中心とした投資領域の選択

主な子会社の業績と予想

単位: 億円

杏林製薬	06年3月期	07年3月期	08年3月期(予想)
売上高	674	661	706
営業利益	88	76	73
当期純利益	48	47	45

キョーリンリメディオ	06年1月期(8ヶ月分)	07年1月期	08年1月期(予想)
売上高	44	69	76
営業利益	3	2	4
当期純利益	2	0	1

ドクタープログラム	06年1月期(7ヶ月分)	07年1月期	08年1月期(予想)
売上高	8	28	41
営業利益	0	3	4
当期純利益	0	2	2

2007年3月期 決算概要

財務諸表の概況

損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)

	06年3月期		07年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	74,054	100.0%	77,093	100.0%	4.1%	3,038
新医薬品	64,281	86.8%	62,951	81.7%	▲2.1%	▲1,330
国内	55,705	75.2%	57,188	74.2%	2.7%	1,483
海外	8,575	11.6%	5,762	7.5%	▲32.8%	▲2,813
後発医薬品	3,488	4.7%	5,734	7.4%	64.4%	2,245
ヘルスケア	5,035	6.8%	7,273	9.4%	44.4%	2,237
その他	1,248	1.7%	1,133	1.5%	▲9.2%	▲114

< 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社9社：杏林製薬(株) (株)杏文堂
 (株)ピストナー キョーリンリメディオ(株)
 ドクタープログラム(株) Kyorin USA, Inc.
 Kyorin Europe GmbH ActivX Biosciences, Inc.
 ピストナー壱号投資事業有限責任組合

持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株) 日本理化学薬品(株)

< 当期のポイント >

対前年

売上高 77,093百万円 (+3,038百万円)

国内新医薬品 57,188百万円 (+1,483百万円)

06.3実績 07.3実績 (億円)

・キプレス 134 150 (+16)

・ペンタサ 73 80 (+7)

・ムコダイン 199 204 (+5)

海外新医薬品 5,762百万円 (2,813百万円)

・ガチフロキサシン 67 32 (35)

* 米国BMS社テクイン販売中止

* 導出品の契約に関する一時金収入等

後発医薬品 5,734百万円 (+2,245百万円)

ヘルスケア 7,273百万円 (+2,237百万円)

・ミルトン 21 21 (±0)

・ドクタープログラム社 8 28 (+20)

その他 1,133百万円 (114百万円)

* 06年3月期業績(連結)は杏林製薬(株)の数値、07年3月期業績は(株)キョーリンの数値を示す

損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	06年3月期		07年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	74,054	100.0%	77,093	100.0%	4.1%	3,038
売上原価	26,515	35.8%	30,620	39.7%	15.5%	4,104
売上総利益	47,538	64.2%	46,473	60.3%	▲2.2%	▲1,065
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	38,549 (10,107)	52.1% 13.6%	38,059 (8,609)	49.4% 11.2%	▲1.3% (▲14.8%)	▲489 (▲1,497)
営業利益	8,989	12.1%	8,413	10.9%	▲6.4%	▲575
営業外収益	863	1.2%	902	1.2%	4.5%	38
営業外費用	387	0.5%	660	0.9%	70.6%	273
経常利益	9,465	12.8%	8,655	11.2%	▲8.6%	▲810
特別利益	260	0.3%	626	0.8%	140.9%	366
特別損失	1,259	1.7%	1,027	1.3%	▲18.5%	▲232
税金等調整前 当期純利益	8,466	11.4%	8,255	10.7%	▲2.5%	▲211
法人税・住民税 及び事業税	2,539	3.4%	3,100	4.0%	22.1%	561
法人税等調整額	653	0.9%	324	0.4%	▲50.3%	▲328
当期純利益	5,228	7.1%	4,842	6.3%	▲7.4%	▲386

< 当期のポイント >

◆原価率：前年比 3.9ポイント上昇 (35.8%→39.7%)
* 上昇要因：薬価改定(6.3%)、能代工場新製剤棟の稼働に伴う減価償却費の増加等

◆研究開発費率：前年比 2.4ポイント低下 (13.6%→11.2%)
* 101億円→86億円(約15億円減少)
共同開発品の開発費用の07年度への期ズレ

◆販管費率(除R&D費)：前年比 0.2ポイント低下 (38.4%→38.2%)

■ 営業利益 8,413百万円(▲575百万円)
* 営業利益率は10.9%と1.2ポイント減少

■ 当期純利益 4,842百万円(▲386百万円)

■ 配当 30円00銭 配当性向 46.2%

* 06年3月期業績(連結)は杏林製薬(株)の数値、07年3月期業績は(株)キョーリンの数値を示す

株式会社キョーリン 連結業績予想



(単位:百万円)

	07年3月期		08年3月期(予想)			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	77,093	100.0%	83,600	100.0%	8.4%	6,507
新医薬品	62,951	81.7%	67,300	80.5%	6.9%	4,349
国内	57,188	74.2%	63,100	75.5%	10.3%	5,912
海外	5,762	7.5%	4,200	5.0%	▲27.1%	▲1,562
後発医薬品	5,734	7.4%	6,400	7.7%	11.6%	666
ヘルスケア	7,273	9.4%	8,700	10.4%	19.6%	1,427
その他	1,133	1.5%	1,200	1.4%	5.9%	67
営業利益	8,413	10.9%	8,500	10.2%	1.0%	87
経常利益	8,655	11.2%	9,100	10.9%	5.1%	445
当期純利益	4,842	6.3%	5,000	6.0%	3.3%	158

< 予想のポイント >

対前年
 売上高 83,600百万円 (+6,507百万円)
 国内新医薬品 63,100百万円 (+5,912百万円)
 07.3実績 08.3予想(億円)

・キプレス 150 163(+13)
 ・ペンタサ 80 89(+9)
 ・ムコダイン 204 210(+6)

*ウリトス売上予想は薬価収載後開示予定

海外新医薬品 4,200百万円 (-1,562百万円)
 ・ガチフロキサシン 32 30(-2)

*導出品の契約に関する一時金収入等の減少

後発医薬品 6,400百万円 (+666百万円)
 ヘルスケア 8,700百万円 (+1,427百万円)
 ・ミルトン 21 22(+1)
 ・ドクタープロラム社 28 41(+13)
 その他 1,200百万円 (+67百万円)

営業利益 8,500百万円 (+87百万円)

原価率・・・前年比約1ポイント低下

研究開発費率・・・前年比2ポイント上昇(11.2% 13.2%)

*研究開発費:86億円 110億円(24億円増)

販管費率(R&D費除く)・・・ほぼ横バイ

当期純利益 5,000百万円 (+158百万円)

配当 30円00銭(予想)

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

<当期のポイント>

	06年3月期		07年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	59,719	49.2%	64,860	52.3%	5,141
現金および預金	14,593		12,749		
受取手形及び売掛金	26,752		31,514		
有価証券	111		1,111		
棚卸資産	13,767		14,614		
その他流動資産	4,493		4,871		
固定資産	61,634	50.8%	59,179	47.7%	▲2,455
有形固定資産	21,363		19,637		
無形固定資産	5,720		4,116		
投資その他	34,550		35,424		
資産合計	121,353	100.0%	124,039	100.0%	2,686
流動負債	18,367	15.1%	19,941	16.1%	1,574
支払手形及び買掛金	6,590		9,687		
その他流動負債	11,777		10,253		
固定負債	7,478	6.2%	5,920	4.7%	▲1,558
負債合計	25,845	21.3%	25,861	20.8%	15
株主資本	93,667	77.2%	96,922	78.2%	3,255
評価・換算差額等	1,223	1.0%	1,256	1.0%	32
少数株主持分	616	0.5%	—	—	▲616
純資産合計	95,507	78.7%	98,178	79.2%	2,670
負債及び純資産合計	121,353	100.0%	124,039	100.0%	2,686

■ 流動資産：5,141百万円増

- ・現金、預金の減少 (1,844百万円減)
- ・受取手形、売掛金の増加 (4,762百万円増)
- ・有価証券の増加 (999百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (846百万円増)
- ・その他流動資産の増加 (377百万円増)

■ 固定資産：2,455百万円減

- ・有形固定資産の減少 (1,726百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (1,603百万円減)
- ・投資その他の増加 (874百万円増)

■ 流動負債：1,574百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加(3,097百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (1,523百万円減)

■ 固定負債：1,558百万円減

* 貸借対照表の概要については、06年3月期業績(連結)、07年3月期業績ともに(株)キョーリンの数値を示す

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期		08年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	7,009	8,219	12,698	10,107	8,609	▲14.8%	11,000
設備投資	3,301	5,670	6,172	4,605	2,954	▲35.9%	2,800
減価償却費	3,637	4,774	3,894	3,646	4,544	+24.6%	4,600

<設備投資の状況(実績/計画)>

(実績)

工場設備(キョーリンリメディオセンター棟等)

管理・販売設備

研究用設備

07年3月期実績

20億円

5億円

4億円

08年3月期計画

19億円

5億円

4億円

(計画)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

主要製品売上の状況



(単位:億円) 健康はキョーリンの願いです。

		03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期		08年3月期 (予想)
						実績	前 同 比	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	64	98	118	134	150	12.1%	163
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	47	17	23	25	25	▲0.8%	23
	ムコダイン (去痰剤)	171	180	190	199	204	2.5%	210
	バクシダール (合成抗菌剤)	12	9	7	6	6	▲6.9%	5
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	70	70	66	63	58	▲8.3%	58
	アプレース (抗潰瘍剤)	34	29	26	24	20	▲13.2%	19
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	30	27	24	22	19	▲12.5%	18
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	53	60	64	73	80	10.3%	89
海外 新医薬品	海外売上合計	90	85	88	86	58	▲32.8%	42
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	51	71	80	67	32	▲51.9%	30
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	15	11	4	3	4	12.2%	2
	海外売上比率	13.2%	13.1%	13.3%	11.6%	7.5%	—	5.0%
ヘルステア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	30	27	23	21	21	▲2.7%	22

主な業績項目の推移: 連結

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	68,618 (9,024)	65,061 (8,533)	66,296 (8,838)	74,054 (8,575)	77,093 (5,762)	83,600 (4,200)
売上原価 (売上原価率)%	21,205 (30.9%)	22,389 (34.4%)	22,682 (34.2%)	26,515 (35.8%)	30,620 (39.7%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	35,045 (51.1%)	33,905 (52.1%)	37,747 (57.0%)	38,549 (52.1%)	38,059 (49.4%)	
うち研究開発費 (研究開発费率)%	7,009 (10.2%)	8,219 (12.6%)	12,698 (19.2%)	10,107 (13.6%)	8,609 (11.2%)	11,000 (13.2%)
営業利益 (営業利益率)%	12,367 (18.0%)	8,766 (13.5%)	5,866 (8.8%)	8,989 (12.1%)	8,413 (10.9%)	8,500 (10.2%)
経常利益 (経常利益率)%	12,805 (18.6%)	8,597 (13.2%)	6,430 (9.7%)	9,465 (12.8%)	8,655 (11.2%)	9,100 (10.9%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,120 (6.0%)	5,692 (8.7%)	2,013 (3.1%)	5,228 (7.1%)	4,842 (6.3%)	5,000 (6.0%)
一株当たり当期利益(円)	47.21円	68.76円	26.48円	69.74円	64.97円	66.78円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	700	
総資産	139,961	121,355	109,234	121,044	124,039	
株主資本	105,318	91,856	90,544	94,752	96,922	
純資産	-	-	-	-	98,178	
一株当たり純資産(円)	1,222.61円	1,234.80円	1,218.22円	1,275.15円	1,311.17円	
自己資本利益率%	4.0%	5.8%	2.2%	5.6%	5.0%	
自己資本比率%	75.2%	75.7%	82.9%	78.3%	79.2%	
人員(人)	1,719人	1,652人	1,703人	1,823人	1,932人	
設備投資	3,301	5,670	6,172	4,605	2,954	2,800
減価償却費	3,637	4,774	3,894	3,646	4,544	4,600

* 06年3月期業績(連結)までは杏林製薬(株)の数値、07年3月期業績及び08年3月期予想は(株)キョーリンの数値を示す

損益計算書の概要：杏林製薬単体①



(単位：百万円)

	06年3月期		07年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	67,357	100.0%	66,052	100.0%	▲1.9%	▲1,304
新医薬品	64,036	95.1%	62,709	94.9%	▲2.1%	▲1,326
国内	55,705	82.7%	57,188	86.6%	2.7%	1,483
海外	8,330	12.4%	5,521	8.3%	▲33.7%	▲2,809
後発医薬品	351	0.5%	383	0.6%	9.1%	31
ヘルスケア	2,969	4.4%	2,959	4.5%	▲0.3%	▲9

< 当期のポイント >

	06.3実績	07.3実績 (億円)
売上高	66,052百万円	(1,304百万円)
国内新医薬品	57,188百万円	(+1,483百万円)
・キプレス	134	150 (+16)
・ペンタサ	73	80 (+7)
・ムコダイン	199	204 (+5)
海外新医薬品	5,521百万円	(2,809百万円)
・ガチフロキサシン	67	32 (-35)
* 米国BMS社テクイン販売中止		
* 導出品の契約に関する一時金収入等		
後発医薬品	383百万円	(+31百万円)
ヘルスケア	2,959百万円	(9百万円)
・ミルトン	21	21 (±0)

損益計算書の概要：杏林製薬単体②



(単位：百万円)

	06年3月期		07年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	67,357	100.0%	66,052	100.0%	▲1.9%	▲1,304
売上原価	21,821	32.4%	23,815	36.1%	9.1%	1,994
売上総利益	45,536	67.6%	42,237	63.9%	▲7.2%	▲3,298
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	36,762 (10,013)	54.6% 14.9%	34,623 (8,216)	52.4% 12.4%	▲5.8% (▲17.9%)	▲2,139 (▲1,796)
営業利益	8,773	13.0%	7,613	11.5%	▲13.2%	▲1,159
営業外収益	570	0.8%	761	1.2%	33.5%	191
営業外費用	966	1.4%	760	1.2%	▲21.4%	▲206
経常利益	8,377	12.4%	7,615	11.5%	▲9.1%	▲761
特別利益	194	0.3%	583	0.9%	199.5%	388
特別損失	787	1.2%	300	0.5%	▲61.9%	▲487
税引前当期純利益	7,784	11.5%	7,898	11.9%	1.5%	113
法人税・住民税 及び事業税	2,462	3.7%	2,853	4.3%	15.9%	391
法人税等調整額	550	0.8%	347	0.5%	▲37.0%	▲203
当期純利益	4,771	7.0%	4,697	7.1%	▲1.5%	▲73

< 当期のポイント >

原価率：前年比 3.7ポイント上昇
(32.4% 36.1%)

* 上昇要因：薬価改定(6.3%)、能代工場
新製剤棟の稼働に伴う減価償却費
の増加等

研究開発費率：前年比 2.5ポイント減少
(14.9% 12.4%)

* 100億円 82億円(約18億円減少)
共同開発品の開発費用の07年度への
期ズレ

販管費率(除R&D費)：前年比 0.3ポイント上昇
(39.7% 40.0%)

営業利益 7,613百万円
(1,159百万円)

* 営業利益率は11.5%と1.5ポイント低下

当期純利益 4,697百万円
(73百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)

	06年3月期		07年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	50,721	45.3%	55,296	52.1%	4,575
現金および預金	10,754		9,337		
売掛金	23,862		27,570		
有価証券	0		999		
棚卸資産	12,108		12,596		
その他流動資産	3,995		4,791		
固定資産	61,256	54.7%	50,745	47.9%	▲10,510
有形固定資産	18,636		16,055		
無形固定資産	4,552		2,864		
投資その他	38,068		31,825		
資産合計	111,978	100.0%	106,042	100.0%	▲5,935
流動負債	13,677	12.2%	14,655	13.8%	977
支払手形	1,224		1,670		
買掛金	2,803		4,844		
その他流動負債	9,649		8,139		
固定負債	5,774	5.2%	4,589	4.3%	▲1,185
負債合計	19,452	17.4%	19,244	18.1%	▲208
株主資本	91,456	81.7%	85,706	80.8%	▲5,750
評価・換算差額等	1,068	0.9%	1,091	1.1%	23
純資産合計	92,525	82.6%	86,797	81.9%	▲5,727
負債及び純資産合計	111,978	100.0%	106,042	100.0%	▲5,935

<当期のポイント>

■ 流動資産: 4,575百万円増

- ・現金及び預金の減少 (1,416百万円減)
- ・売掛金の増加 (3,708百万円増)
- ・有価証券の増加 (999百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (487百万円増)
- ・その他流動資産の増加 (796百万円増)

■ 固定資産: 10,510百万円減

- ・有形固定資産の減少 (2,580百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (1,687百万円減)
- ・投資その他の減少 (6,242百万円減)

■ 流動負債: 977百万円増

- ・支払手形の増加 (446百万円増)
- ・買掛金の増加 (2,041百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (1,510百万円減)

■ 固定負債: 1,185百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位: 百万円)

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	67,293 (9,024)	63,589 (8,533)	64,938 (8,838)	67,357 (8,331)	66,052 (5,521)	70,600 (4,100)
売上原価 (売上原価率)%	20,230 (30.1%)	21,273 (33.5%)	21,653 (33.3%)	21,821 (32.4%)	23,815 (36.1%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	34,698 (51.6%)	33,515 (52.7%)	37,373 (57.6%)	36,762 (54.6%)	34,623 (52.4%)	
うち研究開発費 (研究開発费率)%	7,009 (10.4%)	8,219 (12.9%)	12,698 (19.6%)	10,013 (14.9%)	8,216 (12.4%)	10,300 (14.6%)
営業利益 (営業利益率)%	12,364 (18.3%)	8,799 (13.8%)	5,911 (9.1%)	8,773 (13.0%)	7,613 (11.5%)	7,300 (10.3%)
経常利益 (経常利益率)%	12,241 (18.1%)	8,376 (13.2%)	5,723 (8.8%)	8,377 (12.4%)	7,615 (11.5%)	7,900 (11.2%)
当期純利益 (当期純利益率)%	3,633 (5.3%)	5,512 (8.7%)	1,615 (2.5%)	4,771 (7.0%)	4,697 (7.1%)	4,500 (6.4%)
一株当たり当期利益(円)	41.63円	66.59円	21.19円	63.64円	63.25円	
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	
総資産	138,484	119,604	106,264	111,978	106,042	
株主資本	104,191	90,543	88,839	92,525	85,706	
純資産	-	-	-	-	86,797	
一株当たり純資産(円)	1,209.54円	1,217.09円	1,195.26円	1,245.22円	1,168.71円	
自己資本利益率%	3.5%	5.7%	1.8%	5.3%	5.2%	
自己資本比率%	75.2%	75.7%	83.6%	82.6%	81.9%	
人員(人)	1,658人	1,597人	1,619人	1,502人	1,488人	
設備投資	3,301	5,668	6,171	4,455	1,322	1,800
減価償却費	3,626	4,763	3,883	3,307	3,997	3,900